

患者さんおよび代諾者の方へ

「大腿骨近位部骨折術後合併症の軽減のための対策に関する後ろ向き観察研究」
について

西脇市立西脇病院、整形外科・麻酔科では、現在、2013年 1月1 日～2019年12月31 日の間に当整形外科と麻酔科が手術・麻酔を担当した手術患者さんを対象に、大腿骨近位部骨折術後に起こりやすい合併症を軽減する方法を検討する調査研究を実施しております。内容については下記のとおりとなっております。

尚、この調査研究についてご質問等ございましたら、最後に記載しております[問い合わせ窓口]までご連絡ください。

[研究概要および利用目的]

西脇市立西脇病院 整形外科・麻酔科では、安全に大腿骨近位部骨折手術を受けていただくためにスタッフ一同全力をあげて麻酔を含む周術期管理を行っています。(周術期とは、手術前、手術中、手術後までの期間のことです。) 昨今、手術や麻酔の技術と機器が開発され手術や麻酔は30年前と比べてかなり安全なものになりました。この医療のおかげで今まで手術が難しかった高齢の患者さんや基礎疾患を有する患者さんも手術を受ける機会が増えてきました。

このため、依然として大腿骨近位部骨折手術・麻酔のあとで肺炎を含む呼吸不全や心不全・肝不全・腎不全などの合併症が一定の確立で生じます。我々は日々患者さんの生命や治療後の生活の質が向上するように診療にあたっており、この合併症発生率を低下させることは大変重要だと考えています。尚、ここでいう合併症とは適切な診療内で一定の確率で起きてしまう病気の事を指し、いわゆる医療ミスで生じた病気(医療過誤)とは全く異なるものであることをご理解ください。

予後に関係する合併症で多いのは、感染症では、肺炎、尿路感染、精神疾患ではせん妄、その他、の臓器合併症では、虚血性心疾患、心不全などの心合併症、深部静脈血栓・肺塞栓症などがあり、手術をうける患者さんの術後合併症を減らすための取り組みを行ってきました。これら合併症対策の有効性が証明されれば、今後、患者さんの予後改善につながる周術期管理(西脇式メソッド)となります。

そこで今回、当院において、合併症軽減のために行ってきた方法の有用性を検証することにしました。

【研究期間】

2013年 1月1 日～2019年12月31日の間に、大腿骨近位部骨折で手術受けられた患者

[取り扱うデータ]

患者さんのカルテから以下のデータを収集させていただきます。

・患者さんの個人情報・手術麻酔要因

受傷から入院までの日数、入院から手術までの日数、性別、年齢(年)、身長(cm)、体重(kg)、確定術式、ASA分類(PS)、麻酔方法、実施体位、麻酔種別、麻酔加算、手術時間、麻酔時間、尿量、出血量、BIS値、薬剤使用量、輸液情報、輸血情報、BISモニター値

・術前管理、術後合併症のための情報

CRP値・アルブミン値・d-dimer値・クレアチニン値・血算・凝固系・尿中検査・培養検査・心エコー検査・血管エコー検査の情報

病院入院日、病院退院日、術後開始の病名(肺炎・脳梗塞・せん妄など)、投薬情報、透析施行歴、再手術の有無、輸血情報、栄養状態・NST介入歴、リハビリ歴、退院時・1年後の予後、診療報酬

[個人情報保護の方法]

個人情報、検査結果などの記録、保管は第三者が直接患者さんを識別できないよう登録時に氏名を外した定めた登録番号を用いて行います。また得られた記録は、インターネットに接続していない外部記憶装置に記録し、西脇市立西脇病院麻酔科の鍵のかかる保管庫に保管します。

[研究参加による利益・不利益]

利益・・・本研究にデータを提供いただいた患者さん個人には特に利益と考えられるようなことはございませんが、この研究の成果によっては、今後、手術を受けられる患者さんにとって、適切な周術期管理の開発が期待できます。

不利益・・・カルテからのデータ収集のみであるため、特にありません。

[研究終了後のデータの取り扱いについて]

研究終了後には、データは、患者さん個人を特定できない状態にして廃棄します。

[研究成果の公表について]

研究成果が学術目的のために論文や学会で公表されることがありますが、その場合も、患者さんの個人情報の秘密は厳重に守られますので、第三者に患者さんの個人情報が明らかになることはありません。

[研究へのデータ使用の取り止めについて]

いつでも可能です。患者さんあるいは患者さんご本人が意思を表明できない場合には、その代諾者の方(患者さんの配偶者、成人の子、父母、成人の兄弟姉妹若しくは孫、祖父母、同居の親族又はそれらの近親者に準ずると考えられる方)がデータを本研究に用いられたいと考えられた際には、下記[問い合わせ窓口]までご連絡ください。取り止めの希望を受けた場合、それ以降、患者さんのデータを本研究に用いることはありません。しかしながら、同意を取り消した時、すでに研究成果が論文などで公表されていた場合のように、結果を廃棄できない場合もあります。

[問い合わせ窓口]

この研究についてのご質問だけでなく、患者さんのデータが本研究に用いられているかどうかをお知りになりたい場合や患者さんのデータの使用を望まれない場合など、この研究プロジェクトに関することは、どうぞ下記の窓口までお問い合わせ下さい。

西脇市立西脇病院

整形外科 深澤高広

麻酔科 植木正明

連絡先:0795-22-0111